

未来に生きる子どもたちのために

「少子化の進展」「小学校施設の老朽化」「厳しい財政見通し」といった状況の中、小諸市で育つ子どもたちのために、検討会から3つの提言がなされました。

提言1

少子化の進展に対応した 小中学校のあり方

未来に生きる小諸市の子どもたちのために、学校教育の変化や多様な子どもたちの教育的ニーズに対応できる学習環境を整える。

提言2

望ましい小学校の規模

1学級・・・20～30人前後
1学年・・・少なくとも

2～3学級

【付帯事項】

小諸市の子どもたちにとって「望ましい学校の姿」の実現のため、市内小学校は再編が必要な状況である。

提言3

小中学校の配置及び校区 について

- ・区の中で学校が複数校に分かれることのないよう、学校再編とあわせて通学区の見直しも検討する。
- ・小中一貫教育制度のあり方についても検討する。

なお、学校再編にあたっては通学区の安全確保や遠距離通学に配慮すること。